

水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

		石川県農林水産部水産課		
目的	機能再編・地域活性化			
目標	経営構造改善目標	28-3		
事業実施主体	石川県漁業協同組合			
実施地区	輪島地区			
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度		
	平成28年度～29年度	令和2年度		
助成金額	56,700,000円			
事業計画の内容	取水口を河川等の影響を受けない場所に設置し、生産から出荷までの各段階における衛生的な生産体制を図り、水産物の安定供給につなげることで、魚価の向上による漁業者の所得向上による競争力を強化する。			
評価	取組の目標（KPI）	漁業所得		
		基準年	平成25年度：漁業所得 4,530千円	
		現状値	令和2年度：漁業所得 不明 千円	増加率 %
		目標値	平成30年度：漁業所得 5,094千円	増加率 12.4%
	成果目標	魚価向上（対象漁業：まき網漁業、対象魚種：ブリ類）		
		現状値	平均単価131円/kg	
		目標値	平均単価162円/kg	
	(1) 現状値の説明	輪島地区のまき網漁業によるブリ類の水揚げ金額及び数量から換算した。		
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	取水口を河川等の影響を受けない場所に設置したことにより、漁獲物の品質向上が図られたが、新型コロナウイルス等による魚価の低迷により、十分な漁業所得の向上へと繋がられていない。		
	(3) 所見	令和元年は小型のブリの漁獲が多かったため、令和2年は新型コロナウイルス等による魚価の低迷もあり目標値に達していない。一方で目標値算出にあたって参考にした西海支所においても魚価は低迷しており、これと比較しても輪島支所においては施設整備による魚価向上効果により下落幅を抑えられている。		
(4) 評価機関への意見等	-			
今後の改善方向等に関する分析	既存の販路においては、新型コロナウイルス等による魚価の低迷は特に高品質、高単価な魚種において顕著であることから、小型魚を含め新たな販路を開拓し、魚価の向上に努める。			